

## 脾胃

脾胃では足の太陰脾経と、足の陽明胃経に対し施術を行います。

### 望診

顔色が黄色い、唇の乾燥、アザ(内出血)、むくみ、顔色のくすみ、カサカサで肌に艶がないなど。舌診では齒痕(齒形がついている)、嫩舌(ぼっている)などを観察します。

### 聞診

小声で歌うような声質、呑(つばをよく呑み込む)などを聞き取ります。ため息が多い、嘔(しゃっくり)、また香ばしいにおいがないかなどを確認します。

### 問診

主に消化器症状に不調がないか、食欲不振や胃痛、下痢、内臓下垂、腹の張り、逆流性食道炎など、また口腔内では口乾、口内炎や歯肉炎の有無を伺います。また環境や季節による不調では、湿度が高い・雨の日・梅雨時期に調子が悪いかなどを聴取します。脾胃は後天の気をつくるため脾胃の失調は全身倦怠感が特徴でもあります。痛みがある場合、太陰脾経では前胸部・心下部、腋窩の圧迫感、下肢内側の腫れと痛み、母趾の麻痺。陽明胃経では顔面麻痺、前頸部の腫れ、前胸部・腹部・兪径部・下肢前面・足背の痛みが出現します。脾の統血作用の低下による鼻出血も出現します。

### 切診

むくみがあるかないか、触って診察します。脈診では脾虚脈、滑脈や緩脈(1呼吸に4拍と緩やか※1呼吸に3拍だと遅脈となる)。腹診では腹圧が高いなどを鑑別します。

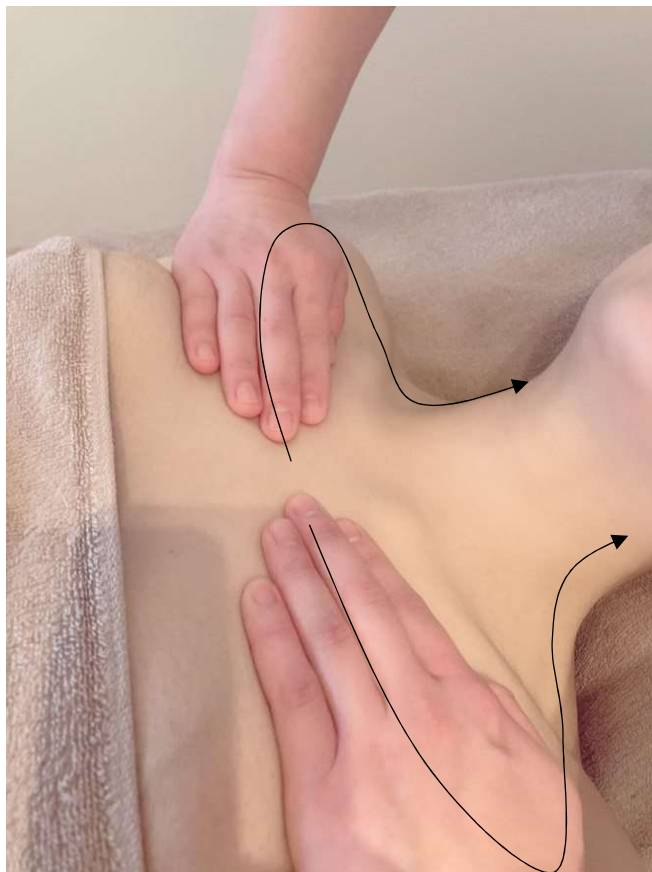
## 1.頭顔面部/三指揉捏点穴<陽明胃経>

両手の示指、中指、薬指の三指を揃え、陽明胃経の走行に沿って承泣から人迎まで揉捏します。承泣、四白、巨髎、地倉、大迎、頰車、下関、頭維の反応をみながら必要に応じて点穴を行います。



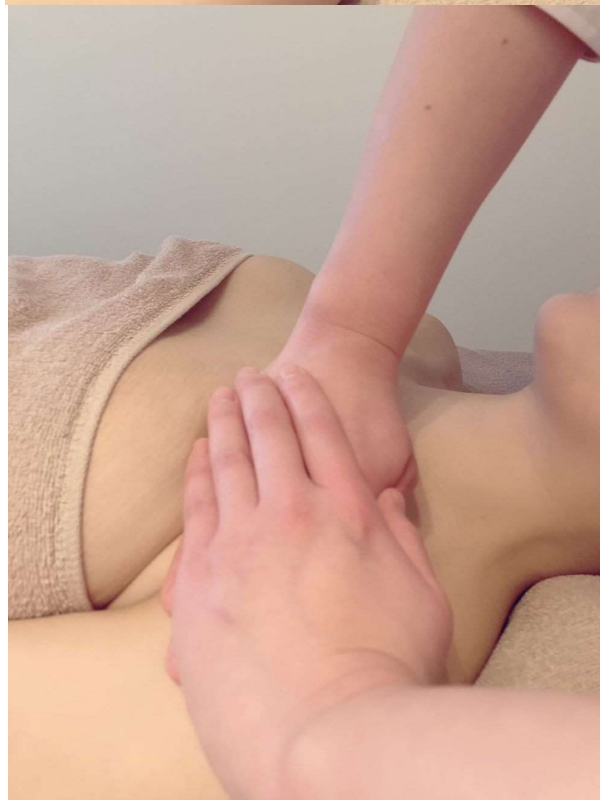
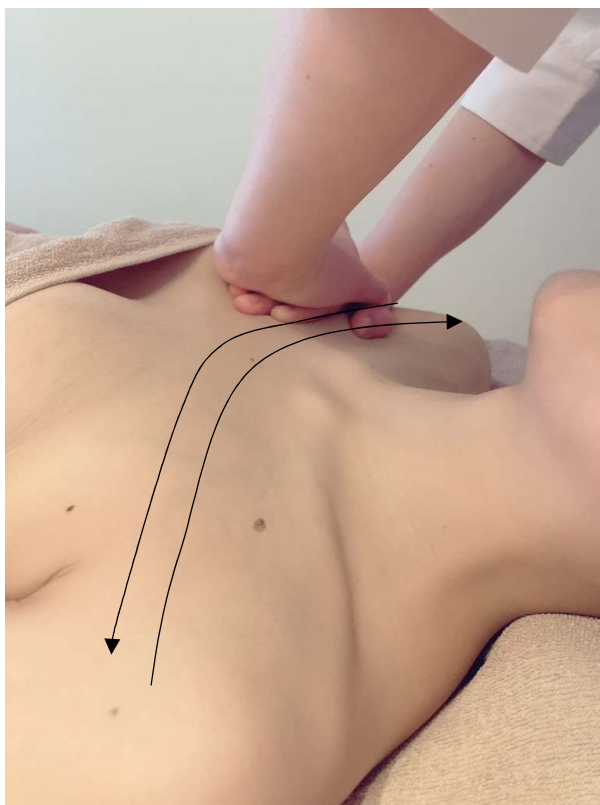
## 2.前胸部/手掌軽擦<陽明胃経・太陰脾経>

両手の手掌を用い、前胸部から頸部にかけてオイリングを行います。



### 3.胸部/手掌軽擦＜陽明胃経・太陰脾経＞

両手の手掌を用い、胸部を左右に移動しながら軽擦を行います。陽明胃経と太陰脾経は胸部を流中します。胸部を開くことで経絡の流れを促します。



#### 4. 頸胸部/三指(母指)揉捏点穴<陽明胃経・太陰脾経>

両手の示指、中指、薬指の三指を揃え、陽明胃経の走行にそって人迎から膺窓まで揉捏します。人迎、水突、气舎、欠盆、气戸、庫房、屋翳、膺窓の反応をみながら必要に応じ点穴します。続いて太陰脾経の胸郷、周榮に点穴を行います。

